

鴨川市教育委員会12月定例会議事録

1 日 時 平成29年12月20日(水) 開会 午後2時00分
閉会 午後3時40分

2 場 所 天津小湊支所2階 会議室

3 出席委員 (1) 月岡正美 (2) 根本新太郎 (3) 石井千枝
(4) 吉原里夏 (5) 永島康弘

4 出席職員 (1) 瀧口正勝 (2) 長谷川幹男 (3) 黒野雅典
(4) 羽田幸弘 (5) 石川丈夫 (6) 福田和史
(7) 濱崎順治

5 教育委員会11月定例会議事録の承認

- ・月岡教育長から、11月定例会議事録について、訂正等の確認がなされ、質疑なく、全員の下承が得られた。

6 教育長・委員報告

- ・月岡教育長から、12月議会の概要について資料をもとに報告がなされた。

主な議案では、国政選挙費用、9月の豪雨による災害復旧、台風21・22号による災害復旧、行政組織改編について説明がなされた。行政組織改編は、現行の14課から4部16課に改編されるが、教育委員会組織は変更なし、との説明がなされた。その他、教育関係に係る補正予算の内容について説明がなされた。

一般質問では、本市の財政運営について、財政調整基金の残高、地方債残高、経常収支比率及び実質公債費比率の状況が資料をもとに説明がなされた。教育に関する一般質問では、天津小学校と小湊小学校の統合に向けた経緯ほか、部活動を理由にした学区外通学者の状況、統合小学校の小中一貫教育の構想、また事業仕分けで「不要・凍結」となった市民ギャラリーの今後の対応、嶺岡牧の日本遺産申請の状況、学校給食における食育の取組状況について、説明がなされた。

- ・石井委員から、西岬小学校の公開、富山学園への訪問視察、大山寺の見学について報告がなされた。西岬小学校は「道徳」の授業公開であったが、これまでの研究の成果から授業パターンが固定化されていた。富山学園では、南房総市

の教育環境の充実ぶりが感じ取れた。小中一貫校であるが、保幼も含め、一緒に生活を共にすることを第一の目標と捉え、無理のない小中一貫教育を進めている、との報告、感想がなされた。

- ・根本委員から、富山学園への訪問視察について報告がなされた。南房総市の予算状況から、放課後や長期休業中に塾の講師を派遣したり、学習支援員や特別支援教育支援員の配置など、恵まれた教育環境であると感じた。また、バス通学者で一番遠い生徒は1時間かけて登校している、との報告、感想がなされた。
- ・石井生涯学習課長補佐から、鴨川市文化財の保護・維持管理の状況について、説明がなされた。

7 議 事

- (1) 鴨川市学校給食センター管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
 - ・長谷川学校給食センター所長から、「鴨川市学校給食センター管理運営規則の一部を改正する規則の制定について」資料をもとに説明がなされた。
 - ・根本委員から、今回の改訂により献立内容は充実するのか、との質問がなされ、長谷川学校給食センター所長から、まぜご飯や黒糖パンなど、主食の種類の上やデザート回数や内容の向上など、メニューの多様化が可能となるとの説明がなされた。
 - ・根本委員から、食材費3%相当分の市の補助とはどういうことか、との質問がなされ、長谷川学校給食センター所長から、平成26年4月に消費税が5%から8%に値上がった部分について、市が毎年一般財源から400万円を補填しているものである、との説明がなされた。
 - ・他に質疑がなく、全員の了承が得られた。

8 その他報告

- (1) 平成30年度の外国語科・外国語活動の実施について、福田指導主事から説明がなされた。
- (2) 平成29年度第3回鴨川市イングリッシュ・キャンプについて、福田指導主事から説明がなされた。
- (3) 道徳の教科化について、濱崎指導主事から説明がなされた。
- (4) 第1回天津・小湊地区小学校統合準備委員会について、瀧口学校教育課長から説明がなされた。

- (5) 平成30年度幼稚園・保育園の申し込み状況について、羽田子ども支援課長から説明がなされた。
- (6) 事業仕分けによる市民ギャラリー・公民館の今後の方針およびロシア女子合唱団音楽公演について、黒野生涯学習課長から説明がなされた。
- (7) 「廻塚の伊八」展示について、石川生涯学習課長補佐から説明がなされた。

8 閉 会

閉会后、1月の教育委員会行事予定について、各所属長より説明がなされた。

月岡教育長は、一切の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成30年1月18日

鴨川市教育委員会 教育長

教育長職務代理者

議事録作成者 瀧口 正勝